

令和3年度 学校評価書

室戸市立吉良川中学校

【学校教育目標】 優しさと温かみがあり、主体的に活動できる生徒の育成
 【研究主題】 主体性とコミュニケーション能力の育成

評定（A：目標を十分に達成）（B：ほぼ達成）（C：やや不十分）（D：改善を要する）

	中長期学校経営目標 【R2年度～R4年度】	短期目標 【今年度の具体的な取組】	評価項目 【今年度の取組の評価指標】	達成状況	自己 評価	改善 方策	関係 者 評 価	学校関係者評価（講評）
知	【学力の向上】 1 各教科等における言語活動の充実 2 基礎基本の学習が定着し表現力が向上 ・全国学力調査 全国平均 ・県学力定着状況調査 1・2年 県平均 3 学習意欲が十分に高められている ・学習状況アンケート 項目1 「学習意欲」肯定群90%以上 4 デジタル社会に向けた教育の推進	・過程時間内のチーム会を実施 ・「導入時の課題設定の仕方」などテーマを絞った授業参観を日常的に実施 ・授業改善プランを活用したチーム会研修の実施 ・朝学習(国、数、英)の実施 ・自主ノート毎日提出 ・定期テスト思考力問題正答率の向上 ・家庭学習の充実(学習の手引きを活用した家庭学習の支援個に応じた課題の用意) ・生徒用タブレットの整備及びタブレット等を活用した授業づくり	・過程時間内のチーム会が実施できている ・導入など、テーマを絞った短時間の授業参観が実施できている ・授業改善プラン、授業づくり講座等を活用したチーム会が実施できている ・朝学習テスト 初回合格率 60% 再テスト合格率 100% ・自主ノート 提出率 80% ・思考力問題 正答率 50% 無答率 30% ・家庭学習1時間以上 50%	1各教科等における言語活動の充実 ・各教科等で少しずつ進んでいる 2基礎基本の学力が定着し、表現力が向上 ・チーム会等の研修は予定通り実施できた ・朝学習は概ね予定通り実施できた ・3年の全国学力調査は全国平均を大きく下回った ・1・2年の県学力調査は県平均並みの正答率であった 3学習意欲が十分に高められている ・「家庭学習1時間以上」は、達成率が75%程度に向上 ・自主ノートの提出や内容の工夫もあり、充実度が向上 ・学習状況アンケート項目1「学習意欲」肯定群 98% 4デジタル社会に向けた教育の推進 ・タブレットの活用が始まり、授業で取り組む教科も増えた	B	1. 実践を継続する 2. いままでに課題とされた思考力問題や記述問題を授業や定期テスト等に取り入れる 3. 実践を継続する 4. 教科や学級で教え合いながら取り組んでいく授業への具体的な活用方法を研修する	B	○全国学力調査が大きく下回ったのは、これから課題。 ○学力調査で3年生の結果が気になるが、学習意欲が高まっていることは期待できる。 ○学習意欲が高まり家庭学習の定着が来ているようですが全国学力調査での結果ではまだ実力をつけていないようです。 ○個に応じた学習課題はありがたいと思いました。 ○学習面での成果となるとすぐに出てくるものではないとは思いますが、学習意欲のところがA評価ならば総合評価はAでいいと思います。 ○確実に学習習慣が定着しつつあるようなので、継続して頑張ってください。 ○家庭学習の充実については、保護者の意識向上も重要だと思います。三者面談等での周知を行ってはいかがでしょうか。 ○タブレットも始まり大変だと思います。
					C			
					A			
					B			
徳	1 道徳性の育成 ・各種意識調査において道徳教育項目の肯定的評価を向上させる 2 社会貢献意識の育成 ・将来の夢や目標を持っている意識の高揚 ・人の役に立つ人間になりたいと思う意識の高揚 3 自尊感情の育成 ・自分なりのよさがある意識の高揚 ・hyper-QUの満足群の向上 ・「自分にはよいところがあると思う」80%以上	1、2 ・行事等と関連付けた道徳を実施する ・肯定的二者面談を年間2回以上実施 ・SCを活用した校内支援会を月1回実施 ・いじめ防止等対策委員会を月1回実施 ・学校生活アンケート年2回実施 ・異学年の交流行事等を実施 ・地域行事への参加・協力 ・郷土学習の実施 ・地域人材の活用 3 ・自主的な活動を支援していく	・道徳意識調査 「人が困っているときは、進んで助ける」75%以上 「社会貢献」70%以上 ・hyper-QU(年2回) 学校生活満足群 80%以上 ・いじめ防止等対策委員会を月1回開催する 教員の「いじめ、虐待研修」の実施 学校生活アンケートを年間2回実施 ・学校評価アンケート 「目標を持った学校生活」80%以上 ・人権意識調査「自分なりの良さ」70%以上 ・全国学力学習状況調査生徒質問紙 「自分にはよいところがあると思う」80%以上	・道徳意識調査 「人が困っているときは進んで助ける」肯定的意見100% 「社会貢献」肯定的意見88% ・hyper-QU(年2回) 学校生活満足群 82% ・いじめ防止等対策委員会を月1回開催する 教員の「いじめ、虐待研修」が実施できた 学校生活アンケートを年間2回実施した ・学校評価アンケート 「目標を持った学校生活」肯定的意見94% ・人権意識調査「自分なりの良さ」肯定的意見94% ・全国学力学習状況調査生徒質問紙 「自分にはよいところがあると思う」肯定的意見100%	A	・学校からの発信を増やし家庭への働きかけを強化する ・調査の結果でみると十分な結果であるが、行動力をどのようにしてつけていくかが課題 ・他者理解することが苦手な生徒が増えてきているQUアンケートや生徒観察、行事等を通して他社理解の力を高め、いごちがよくて温かい生活ができるような環境作りをしていく	A	○人が困っているとき、進んで行動し助けることのできる吉良川の子に育ってほしい。 ○道徳教育等を通して、自分の良さ、人の良さに気付くことができるようになってきていると思います。 ○「地域の教育力」が必要に思います。イベント部長として子供たちと接する機会をもっと提案させていただきたいと思っております。 ○生徒の肯定的意見が高く素晴らしいと思います。 ○肯定的意見が高水準であるとのことなので、次のステップにつなげてください。 ○意識調査の結果を見ると今後に期待ができるので継続して指導してほしい。 ○少数の学校の良さが生かされていて、子供達の自尊感情評価がAなのは、大変うれしく思いました。
					B			
					A			
体	1 課題解決学習を重視した授業展開 ・生徒が十分活動できる運動量確保 ・実態に応じた適切な手立ての創造 ・生徒の習熟度向上や、達成感を味わわせる ・県体力・運動能力・習慣等調査 全国・県平均以上(特に瞬発力、敏捷性) 2 基本的な生活習慣の確立と特別支援教育の充実 ・SNS等の望ましい使い方について生徒・保護者が理解し実践できている ・「メディアの平均使用時間」1時間未満100% ・支援が必要な生徒への支援体制の確立と支援の充実	1 課題解決学習を重視した授業展開 ・課題を明確にし課題に応じた具体的な取り組みを全校で継続的に実施 ・毎授業の導入部分で課題改善に向けた補強運動の実施 ・自分自身の記録と県平均・全国平均記録がみとれるワークシートを作成し記録向上への意欲を高める 2 基本的な生活習慣の確立と特別支援教育の充実 ・生活リズムチェックを毎学期実施し、現状や改善状況を把握・共有 ・個別指導が必要な生徒に指導を行いPTA保護者への協力依頼 ・SCを含めた校内支援委員会の定期的な開催	1 課題解決学習を重視した授業展開 ・複数回実施する各項目の測定結果が、昨年度の調査より10%向上 2 基本的な生活習慣の確立と特別支援教育の充実 ・家庭連絡ノートや家庭訪問等により生徒への支援について保護者の共通理解ができている ・SCを含めた校内支援委員会を定期的実施し、見たてや支援の方法を共通理解している ・生徒への定期的な面談及び適宜必要場面での面談等によるカウンセリングができている	1 課題解決学習を重視した授業展開 ・瞬発力・敏捷性向上の補強運動を行うことで、年間を通して、男女ともに昨年度の県平均記録より高い数値となった。昨年度の記録より、男子の瞬発力で3%、女子の記録5%向上している 敏捷性では男子が21%、女子では14%向し、敏捷性が男女とも10%以上の数値となった。今後も瞬発力を継続して指導していく 2 基本的な生活習慣の確立と特別支援教育の充実 「メディアの平均使用時間」2学期:60.4% 3学期59.8%であり、数値が下がってきている メディア視聴に関する健康への影響についての予防教室を実施し「吉良中ネット宣言」を一人一人が記入し掲示することで改善を促せた	A	・瞬発力に関しては、取り組み方を工夫し、継続していく。 ・次年度も、メディア視聴に関する健康への影響についての予防教室を保護者も含め実施し、「吉良中ネット宣言」の取組を行う。 ・保護者に保健便りを通じて現状を伝え、連携して改善していく。	A	○目標を定めた体力向上も成果が上がっていると思います。 ○現状に満足せずに次のステップにつながるように継続してください。 ○合同アップは良い取り組みだと思います。 ○基本的な生活習慣は、小さい時からの積み重ねはもちろん現代では保護者の就労時間の多様化もあり手立ての難しさには共感します。 ○基本的な生活習慣を確立することで、心も体も健康になれるよう、保護者との連携が取れている。 ○メディアの使用が生活リズムを崩す原因なので吉良中ネット宣言は良い取り組みです。 ○ネット関連の講演会等があれば、ぜひ子供達も参加させてほしい。
					B			
横断	1 いじめ・不登校対策 ・不登校生徒数、新規不登校生徒数 0人 2 働き方改革・人材育成 ・時間外在校等時間 月45時間以内 年 360時間以内 ・長期休業中休暇取得10日以上 ・各ステージ教職員の資質・指導力等が向上 3 防災・安全 ・命を守るために必要な知識・技能の習得 ・保護者・地域等と連携した登下校安全対策 4 地域との連携・協働 ・学校運営協議会が組織され、地域住民等の参画を得た教育活動	1 いじめ・不登校対策 ・欠席生徒の原因を把握し、家庭訪問等対応策を実施 ・体験活動を実施するとともに、生徒面談家庭訪問を実施 ・校内支援委員会を定期的実施する 2 働き方改革・人材育成 ・会議資料等のペーパーレス化を進める ・部活動合同アップは少数の教員で行う ・生徒のリーダーを体験させながら育てる ・授業参観を日常的に実施する ・チーム会の実施と授業改善プランを活用したチーム会研修を実施 3 防災・安全 ・防災避難訓練の実施と事後指導 ・交通指導及び生徒会挨拶運動を実施 ・地域の方と防災・安全の共通理解を図る 4 地域との連携・協働 ・学校運営協議会の組織を再編と活動 ・学校、地域の行事等に生徒・教員・保護・地域住民が参画	1 いじめ・不登校対策 ・「気づき」欄に入力できている ・定期面談とSCによる個人面談をしている ・生徒の個人面談や家庭訪問をしている ・学校行事等において、生徒も企画から参画し事後の検証を学級の話し合い活動で行っている ・校内支援委員会が定期的実施されている 2 働き方改革・人材育成 ・各担当が共有ホルダー内に資料作成している ・少数の指導者で総合アップを行い他の教員は分掌業務 ・テーマを絞った授業参観が実施できている ・チーム会研修が実施できている 3 防災・安全 ・防災避難訓練と事後指導ができている ・交通指導及び挨拶運動を実施している ・地域と防災・安全の共通理解が図れている 4 地域との連携・協働 ・学校運営協議会の組織が再編されている ・学校、地域の行事に生徒・教員・保護者・地域住民が参画している	1 いじめ・不登校対策 ・不登校、不登校傾向生徒数2名だが、保護者と共通理解した支援が継続できている ・道徳教育や体験学習等による心の教育ができ、学年を越えた絆ができつつある ・担任等による個別面談を実施したり、生徒が主体的に活動できるよう支援することができた 2 働き方改革・人材育成 ・時間外勤務月45時間以内は、教職員個人により達成に差があるが、全体的には改善傾向 ・職員会資料等のペーパーレス化が進んでいる ・部活動総合アップによる業務時間確保ができた ・教科間連携により教職員の資質・指導力が向上 3 防災・安全 ・防災・安全教育の授業を計画通り実施できた ・定期的な防災訓練と事後指導ができた ・登下校時、地域と共同した見守りが実施できた 4 地域との連携・協働 ・学校運営協議会が組織された。 ・組織はできたが、教育委員会の取組が遅れている	A	・校内支援会の定例化(月1回)と、いじめ解消率100%を目指す ・Q-U研修への参加や分析結果の活用 ・不登校への対応今年度の取組を継続実施 ・月45時間以上の職員数減に向けての業務改善や意識改革 ・部活動の各種大会へ参加等の見直しが必要 ・防災学習の計画的実施 ・関係機関や地域と連携した取組の継続 ・コミュニティースクール計画と実施	A	○不登校、いじめの解消ができると良いのですが、道徳教育や先生方の支援のおかげで、いじめのない学校生活が送れていると思う。 ○次の目標に向かって頑張ります。 ○働き方改革等については、行政によるところが大きいと思っています。行政・保護者共に教職員の負担を減らす事に取組まなくてはならない。 ○防災・安全学習で自分を守る知識を十分に学習することができている。 ○防災学習や地域との連携、協働を継続して行ってほしい。 ○地域との連携については、コロナ禍が影響しているところで学校の教育活動としては十分に評価できると思います。 ○コロナで発表会に参加できなかったのが残念でした。来年楽しみにしています。 ○コロナ禍で学校行事への参加もできず残念でしたが工夫しながら引き続きの連携を進めてほしい。
					B			
					A			
					B			